

ニキャンプニ

たまには 大きい自然に 会いに行こう



近頃、アウトドアライフが注目され人気ですが、自然の中で過ごすことを大切にしてきたコロでは、春と秋の2回キャンプに出かけます。(年長さんは卒会キャンプも)

コロのキャンプは毎日の生活の延長。山登りは長～いお散歩、みんなのご飯作りは毎週水曜の煮炊きと一緒にです。行先は山や川や、みんなの行きたいところへ。参加のかたちも自由。家族みんなで来たり、上の兄弟が来たり、慣れてきた年長さんが一人で参加してみたり・・・とわいわい賑やか。



グッズをそろえてのキャンプじゃなくても、いつもと違う山や沢の水、遠くの景色もわくわくするね！大人も子どもも自然にふれてその日その場所を楽しんでみよう！

コロキャンプ こんな所へ行ってきた

- もとやま自然の村キャンプ場 (日立市)
- 御前山青少年旅行村 (城里町)
- 城里町総合野外活動センター (城里町)
- 宮山ふるさとふれあい公園 (筑西市)
- 竜神の森キャンプ場 (石岡市)
- つくばねオートキャンプ場 (つくば市)
- 筑波ふれあいの里 (つくば市)

etc・・・



《コロ父 キャンプで思うこと・・・》

- K 父：子ども達が子ども達で考えて動くようになる。
自分の子どもをずっと見ていなくても誰かが見ていてくれる。他人の子育てをみるができるいい機会。
- M 父：家族キャンプでは、隣のテントが家族連れで子どもが同じ年頃だったとしてもなかなか交流することはないなあ。
- T 父：親は子どものものすることを見守っているかんじだね。
- I 父：子どもをみていると、山登りの足運びというものがある。そういう能力は駆けっこヨーイドンでは測れない。
- Y 父：山登りでは子どもって意外に体力があると気づかされる。子どもには無理だと思って限界を作っているのは親の方だったりする。親自身が子どもを言い訳に諦めていたり、甘えていたり・・・。
- A 父：自分の子どもとは見つけれなかったことが見つかる。
自分が子どもになっている瞬間がある・・・。